

赤穂市

子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査



● 調査ご協力をお願い ●

皆様には、日頃より市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

赤穂市では、子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業の整備を実施する予定です。

本調査は、子育て支援に関する実態や利用希望・ご意見などを把握するために行うものです。

また、本調査は、中学校区を単位として、小学校を通じて配布するものです。回答者個人が特定されたり、他の目的に利用したりすることは一切ございません。なお、回答していただいた内容は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。

ご多忙のこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 25 年●月

赤穂市

【ご記入にあたってのお願い】

- アンケートには、調査用紙を持ち帰ったお子さんについてご記入ください。
また、調査票を持ち帰ったお子さんが複数いらっしゃる場合は、持ち帰ったお子さんのうち年齢が下のお子さんについてご記入いただき、上のお子さんについては下の質問にのみ回答し、未記入で提出してください。（同様の趣旨で就学前児童の保護者を対象とした調査も実施しております。）

複数回答のため、以下の学年（平成 25 年度時点【本年度】）の子どもは未記入で提出します。（ひとつに〇）

1. 1年 2. 2年 3. 3年 4. 4年 5. 5年

例： 2歳、小学4年のお子さんが持ち帰った場合、2歳の『就学前児童保護者用』に回答

例： 小学1年、小学5年のお子さんが持ち帰った場合、小学1年の『小学生児童保護者用』に回答

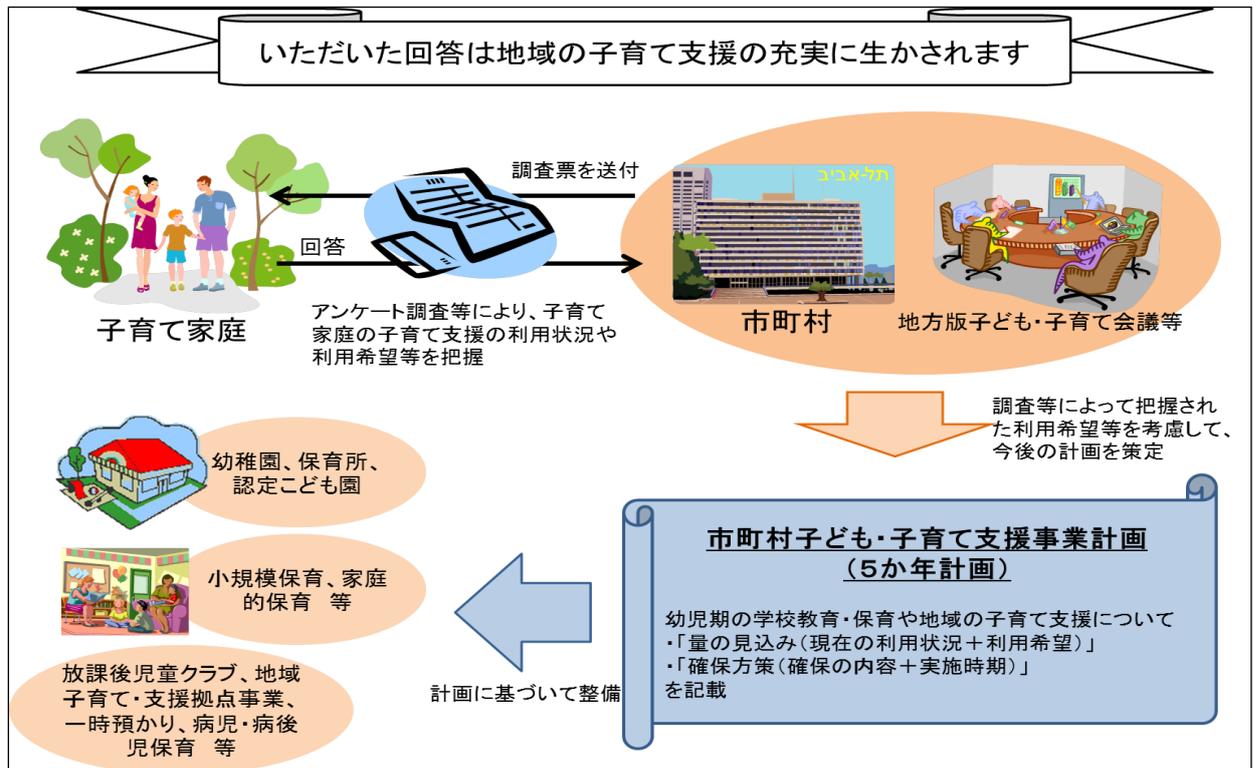
- アンケートにはお子さんの保護者の方がご記入ください。
- ご回答は、選択肢に〇をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合がございます。
- 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので注意書きに従ってください。また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- 数字で時間（時刻）をご記入いただく場合は、24時間制（例：午後6時→18時）でご記入ください。
- 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、ことわり書きや矢印に従ってご回答ください。特にことわりのない場合は、次の設問にお進みください。
- 本調査の集計結果や自由記述の趣旨については、市のホームページ等を通じて公表する場合があります。

ご記入がすみましたら、お手数ですが、●月●日（●）までに小学校へご提出ください。

赤穂市健康福祉部 子育て健康課 電話：0791-43-6808 FAX：0791-45-3396
赤穂市教育委員会 こども育成課 電話：0791-43-7065 FAX：0791-45-6895

回答するに当たってお読みください

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。
 地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。



～用語の定義～

この調査票における用語の定義は以下のとおりです

- ・幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
- ・保育所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
- ・認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- ・子育て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・教育：家庭での教育を含めた広い意味で用いています



お住まいの地域・ご家族の状況等についてうかがいます。



問1 お住まいの小学校区はどちらですか。(ひとつに○)

- | | | |
|------------|-----------|-----------|
| 1. 赤穂小学校区 | 2. 城西小学校区 | 3. 塩屋小学校区 |
| 4. 赤穂西小学校区 | 5. 尾崎小学校区 | 6. 御崎小学校区 |
| 7. 坂越小学校区 | 8. 高雄小学校区 | 9. 有年小学校区 |
| 10. 原小学校区 | | |

問2 調査票を受け取ったお子さんの生年月月をご記入ください。() 内に数字でご記入ください。

平成()年 ()月生まれ

※ここから先、すべての質問の「お子さん」とは、調査票を受け取ったお子さんのことです。

問3 お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。お子さんを含めた人数を() 内に数字でご記入ください。

きょうだい数()人

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(ひとつに○)

- | | | |
|-------|-------|-----------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他() |
|-------|-------|-----------|

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(ひとつに○)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問6 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(ひとつに○)

- | | | |
|----------|-----------|---------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 |
| 4. 主に祖父母 | 5. その他() | |



子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。



問7 お子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。お子さんからみた関係でお答えください。(あてはまるすべてに○)

- | | | |
|-------------|-----------|-------------|
| 1. 父母ともに | 2. 母親 | 3. 父親 |
| 4. 祖父母 | 5. 小学校 | 6. アフタースクール |
| 7. 放課後子ども教室 | 8. その他() | |

問8 お子さんの子育て(教育を含む)に、もっとも大きく影響すると思われる環境はどれですか。(あてはまるすべてに○)

- | | | |
|-------------|-------------|-----------|
| 1. 家庭 | 2. 地域 | 3. 小学校 |
| 4. アフタースクール | 5. 放課後子ども教室 | 6. その他() |

問9 お子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(ひとつに○)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. いる/ある ⇒ 問9-1へ | 2. いない/ない ⇒ 問10へ |
|------------------|------------------|

問12 支えてもらっていると感じる場合は、特に誰から支えられていると感じますか。また感じない場合は、特に誰から支えてほしいと感じますか。(あてはまるすべてに○)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 配偶者・パートナー | 2. 祖父母等の親族 |
| 3. 隣近所の人 | 4. 友人・知人 |
| 5. 職場の人 | 6. 学校の保護者仲間 |
| 7. 児童館、母親クラブ等の仲間 | 8. 学校の先生 |
| 9. 子育て応援隊 | 10. 子育て学習センター |
| 11. かかりつけの医師 | 12. 専門カウンセリング(臨床心理士等) |
| 13. 母子自立支援員・家庭児童相談員 | 14. 子ども家庭センター(児童相談所) |
| 15. 民生委員・児童委員・主任児童委員 | 16. 保健所、保健センター |
| 17. 電話相談 | 18. 育児書・育児雑誌 |
| 19. インターネット | 20. その他() |

問13 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

★ お子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。 ★

問14 お子さんは、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごしていますか。(あてはまるすべてに○、それぞれ希望する週当たり日数を数字で記入)

1. 自宅	週()日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週()日くらい
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週()日くらい
4. 児童館	週()日くらい
5. 放課後子ども教室 ※1	週()日くらい
6. アフタースクール ※2 *利用を希望する時間(24時間制)も記入	週()日くらい →下校時から()時まで
7. ファミリーサポートセンター	週()日くらい
8. その他(公民館、公園など)	週()日くらい

⇒ 問14-1へ

※1 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後に小学校で学習・スポーツ・遊びなどを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用でき、市内では赤穂西小、高雄小、有年小、原小で実施しています。

※2 「アフタースクール」…保護者が就労等により昼間家庭にいない場合など一定の条件を満たせば、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。市内では、赤穂小、城西小、塩屋小、尾崎小、御崎小、坂越小で実施しています。事業の利用には、一定の利用者担が発生します。



お子さんの一時預かり等の利用についてうかがいます。



問 17 この1年間に、保護者の用事などにより、お子さんを泊りがけで預けなければならないことはありましたか。(ひとつに○)

- | | |
|---------------------------|------------|
| 1. あった(預け先がみつからなかった場合を含む) | ⇒ 問 17-1 へ |
| 2. なかった | ⇒ 問 18 へ |

問 17-1 問 17 で「1」に○をつけた方にうかがいます。この1年間の対処方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。(あてはまるすべてに○、それぞれの日数も()内に数字で記入)

- | | | |
|--|-------|------------|
| 1. (同居者を含む)親族・知人に預けた | () 泊 | ⇒ 問17-2 へ |
| 2. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した
(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業) | () 泊 | } ⇒ 問 18 へ |
| 3. 認可外保育施設やベビーシッター等の保育事業を利用した | () 泊 | |
| 4. 仕方なく子どもも同行させた | () 泊 | |
| 5. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた | () 泊 | |
| 6. その他() | () 泊 | |

問 17-2 問 17-1 で「1」に○をつけた方にうかがいます。親族・知人に預けた際の困難度はどの程度でしたか。(ひとつに○)

- | | | |
|----------|--------------|-------------|
| 1. 非常に困難 | 2. どちらかという困難 | 3. 特に困難ではない |
|----------|--------------|-------------|

★ お子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。 ★

問 18 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

～記入していただきたいこと～

- ◇（１）母親、（２）父親の両方にご回答ください。（父子家庭、母子家庭の場合はいずれかで構いません）
- ◇選択肢「１」～「６」のいずれかひとつに○をつけてください。
- ◇選択肢「１」～「４」（就労している）のいずれかに○をつけた方で、週当たりの「就労日数」、１日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」「家を出る時間」「帰宅時間」をお答えください。
- ◇就労日数や就労時間、出勤・帰宅時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
- ◇産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
- ◇（ ）内には数字をご記入ください。時間は、必ず（例）８時～１８時のように、２４時間制でお答えください。

（１）母親【父子家庭の場合、記入は不要です】

選択肢	現在の就労状況		
1	フルタイム ※1	1 週当たり () 日 1 日当たり () 時間 家を出る時間 () 時台 帰宅時間 () 時台	⇒ 1、2に○をつけた方 問 19へ
2	フルタイム ※1 【産休・育休・介護休業中である】		
3	パート・アルバイト等 ※2	1 週当たり () 日 1 日当たり () 時間 家を出る時間 () 時台 帰宅時間 () 時台	⇒ 3、4に○をつけた方 問 18-1へ
4	パート・アルバイト等 ※2 【産休・育休・介護休業中である】		
5	以前は就労していたが、 現在は就労していない	現在就労していない	⇒ 5、6に○をつけた方 問 18-2へ
6	これまで就労したことがない		

※1 「フルタイム」…1週5日程度・1日8時間程度の就労のことです。

※2 「パート・アルバイト等」…フルタイム以外の就労のことです。

（２）父親【母子家庭の場合、記入は不要です】

選択肢	現在の就労状況		
1	フルタイム ※1	1 週当たり () 日 1 日当たり () 時間 家を出る時間 () 時台 帰宅時間 () 時台	⇒ 1、2に○をつけた方 問 19へ
2	フルタイム ※1 【育休・介護休業中である】		
3	パート・アルバイト等 ※2	1 週当たり () 日 1 日当たり () 時間 家を出る時間 () 時台 帰宅時間 () 時台	⇒ 3、4に○をつけた方 問 18-1へ
4	パート・アルバイト等 ※2 【育休・介護休業中である】		
5	以前は就労していたが、 現在は就労していない	現在就労していない	⇒ 5、6に○をつけた方 問 18-2へ
6	これまで就労したことがない		

※1 「フルタイム」…1週5日程度・1日8時間程度の就労のことです。

※2 「パート・アルバイト等」…フルタイム以外の就労のことです。

問 18-1 問 18 の (1) または (2) で「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労している) に○をつけた方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。
(母親、父親それぞれひとつに○)

母親	父親	内 容
1	1	フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2	2	フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3	3	パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4	4	パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問 18-2 問 18 の (1) または (2) で「5」または「6」(現在就労していない) に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。
(母親、父親それぞれひとつに○、該当する () 内には数字を記入)

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない) 2. 1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい →希望する就労形態	①フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) ②パートタイム、アルバイト等(「①」以外) →1週間当たり()日 1日当たり()時間
---	--

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない) 2. 1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい →希望する就労形態	①フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) ②パートタイム、アルバイト等(「①」以外) →1週間当たり()日 1日当たり()時間
---	--

**育児休業や短時間勤務制度など
職場の両立支援制度についてうかがいます。**

問 19 育児休業給付や育児休業保険料免除制度をご存じですか。(ひとつに○)

※育児休業給付とは、子どもが原則1歳(保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6ヶ月)になるまで育児休業給付が支給される仕組みのことです。

※育児休業保険料免除制度とは、子どもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みのことです。

1. 育児休業給付、育児休業保険料免除制度のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 育児休業保険料免除制度のみ知っていた
4. 育児休業給付、育児休業保険料免除制度のいずれも知らなかった

問 20 お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

(母親、父親それぞれひとつに○、取得していない方はその理由を記入)

母親 (いずれかに○)	父親 (いずれかに○)
1. 働いていなかった ⇒ 問 21 へ	1. 働いていなかった ⇒ 問 21 へ
2. 取得した(取得中である) ⇒ 問 20-1 へ	2. 取得した(取得中である) ⇒ 問 20-1 へ
3. 取得していない ⇒ 理由を選択し、問 21 へ	3. 取得していない ⇒ 理由を選択し、問 21 へ

⇒ 取得していない理由 (下から番号を選んでご記入ください)(複数可)

母親	父親	
1	1	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2	2	仕事が忙しかった
3	3	(産休後に) 仕事に早く復帰したかった
4	4	仕事に戻るのが難しそうだった
5	5	昇給・昇格などが遅れそうだった
6	6	収入減となり、経済的に苦しくなる
7	7	保育所などに預けることができた
8	8	配偶者が育児休業制度を利用した
9	9	配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10	10	子育てや家事に専念するため退職した
11	11	職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
12	12	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13	13	育児休業を取得できることを知らなかった
14	14	産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
15	15	その他 ()

問 20-1 問 20 で「2」に○をつけた方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。
 (母親、父親それぞれひとつの数字を記入)

(1) 母親	<input type="text"/>	1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問 20-2～7へ 2. 現在も育児休業中である 3. 育児休業中に離職した ⇒ 問 21へ
(2) 父親	<input type="text"/>	

問 20-2 問 20-1 で「1」に○をつけた方にうかがいます。育児休業から職場に復帰したタイミングはいつでしたか。(母親、父親それぞれひとつの数字を記入)

(1) 母親	<input type="text"/>	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングで復職できた 2. それ以外だった
(2) 父親	<input type="text"/>	

問 20-3 問 20-1 で「1」に○をつけた方にうかがいます。育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。(母親、父親それぞれ () 内に数字で記入)

(1) 母親

実際の取得期間 () 歳 () ヶ月	希望 () 歳 () ヶ月
----------------------	-----------------

(2) 父親

実際の取得期間 () 歳 () ヶ月	希望 () 歳 () ヶ月
----------------------	-----------------

問 20-4 問 20-1 で「1」に○をつけた方にうかがいます。お勤め先に、子どもが満3歳まで取得できる育児休業制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。(母親、父親それぞれ () 内に数字で記入)

(1) 母親 () 歳 () ヶ月 (2) 父親 () 歳 () ヶ月

問 20-5 問 20-3 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

A. 「希望」より早く復帰した方 (母親、父親それぞれ、あてはまるすべての数字を記入)

(1) 母親	<input type="text"/>	1. 希望する保育所に入るため 2. 配偶者や家族の希望があったため 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため 5. その他 ()
(2) 父親	<input type="text"/>	

B. 「希望」より遅く復帰した方 (母親、父親それぞれ、あてはまるすべての数字を記入)

(1) 母親	<input type="text"/>	1. 希望する保育所に入れなかったため 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため 3. 配偶者や家族の希望があったため 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため 6. その他 ()
(2) 父親	<input type="text"/>	

問 20-6 問 20-1で「1」に○をつけた方にうかがいます。育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(母親、父親それぞれ、ひとつの数字を記入)

(1) 母親	<input type="text"/>	1. 短時間勤務制度を利用した	⇒ 問 21 へ
(2) 父親	<input type="text"/>	2. 短時間勤務制度を利用しなかった	⇒ 問 20-7 へ

問 20-7 問 20-6で「2」に○をつけた方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。(母親、父親それぞれ、あてはまるすべての数字を記入)

(1) 母親	<input type="text"/>
(2) 父親	<input type="text"/>

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる 4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した 6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった 7. 子育てや家事に専念するため退職した 8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった) 9. 短時間勤務制度が利用できることを知らなかった 10. その他 () |
|--|

問 21 子どもと一緒に過ごす時間や親の介護、自己実現のための時間が十分にとれている(仕事と生活の調和がはかられている)と思いますか。(母親、父親それぞれひとつに○)

母親		父親	
1. とれている	2. とれていない	1. とれている	2. とれていない



お子さんの安全についてうかがいます。



問 22 子どもの健全育成や非行防止のために、どのようなことに力をいれるべきだと思いますか。
(○は3つまで)

1. 家庭でのしつけやこころの教育を充実する
2. 学校での生徒指導や教育を強化する
3. 学校や地域、行政、警察などが連携し、指導体制を充実する
4. 青少年が高齢者や大人など、地域の人びととふれあう機会をふやす
5. 青少年に及ぼす影響の大きい雑誌やビデオなどの販売、ちらし等を排除する
6. 万引きなどを防止するための管理体制を強化する
7. 青少年の非行防止・健全育成のための相談体制を強化する
8. その他 ()
9. 今のままでもよい

問 23 子どもの安全を守るために、特に重要と思われることは次のうちどれですか。(○は3つまで)

1. 地域の交通安全活動の充実・強化
2. 歩行者や自転車のための交通安全施設(ガードレール・歩道)の整備
3. 地域ぐるみのパトロールなど子どもを犯罪から守るための取り組み
4. 公園の遊具や安全性の確保
5. 不審者の進入防止など、学校の安全対策
6. 通学路や子どもの遊び場の安全対策
7. 犯罪にあいそうになった時の対応についての教育
8. その他 ()

赤穂市での子育てや子育て支援サービス
についてうかがいます。

問 24 下記の分野のうち、行政の取り組みに対してどのように感じていますか。

(①～⑰、それぞれひとつに○)

	大変満足	満足	普通	やや不満	不満	わからない
①豊かな心と健康なからだの育成推進	1	2	3	4	5	6
②学校園の指導環境の整備と充実	1	2	3	4	5	6
③子どもの居場所づくりと交流活動の推進	1	2	3	4	5	6
④関係活動団体との連携による展開	1	2	3	4	5	6
⑤青少年の健全な育成のための環境整備	1	2	3	4	5	6
⑥次代の親の育成	1	2	3	4	5	6
⑦地域における子育て機運の醸成	1	2	3	4	5	6
⑧子どもや母親の健康の確保	1	2	3	4	5	6
⑨思春期保健対策の充実	1	2	3	4	5	6
⑩小児医療体制の整備	1	2	3	4	5	6
⑪家庭や地域の子育て力の向上	1	2	3	4	5	6
⑫子育て支援制度・サービスの充実	1	2	3	4	5	6
⑬きめ細やかな配慮を必要とする 子育て家庭への支援	1	2	3	4	5	6
⑭保育サービスの充実	1	2	3	4	5	6
⑮仕事と子育ての両立の推進	1	2	3	4	5	6
⑯子育てしやすい生活環境の整備	1	2	3	4	5	6
⑰子どもを取り巻く安全の確保	1	2	3	4	5	6

問 25 赤穂市は、子育てしやすい環境にあると思いますか。(ひとつに○)

1. はい

2. いいえ

3. わからない

問 26 将来、お子さんにどのような人に育ててほしいと思いますか。(○は3つまで)

1. ふるさとや日本の自然や文化、伝統を愛し、大切にする人
2. 逆境に負けない忍耐力と自立心を身につけた人
3. 公共心や社会常識、マナーを身につけた人
4. 専門的な知識や技能を身につけた人
5. 人の意見に耳を傾け、柔軟に受け入れられる人
6. 自分の意見を持ち、リーダーシップや行動力がある人
7. その他 ()

問 27 あなたは、これからもお子さんに赤穂市で育ててほしいと思いますか。

(ひとつに○、また、その理由も記入)

1. そう思う
2. どちらかというそう思う
3. どちらかというそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

その理由を記入してください。

(

)

問 28 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

●月●日(●)までに小学校へご提出ください。

